システムセットアップガイド

本システムはコンパクトながら、迫力あるドルビーデジタルやDTSサウンドで、あなたの部屋をホームシアターに変身させます。
このシステムセットアップガイドでは、はじめてこのシステムをお使いになる方のために、接続と設置のしかたを説明しています。

接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源コードやACアダプターを抜いてください。また電源コードやACアダプターはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。

付属品の確認

[DVD/CD レシーバー部に付属]

- リモコン× 1

- 単３形乾電池× 2 （AA/R6P）

- FM 簡易アンテナ× 1

- AM ループアンテナ× 1 （図は組み立てた状態です。）

- 電源コード× 1
- ビデオコード× 1
- MCACC セットアップ用マイク× 1

- 保証書
- 取扱説明書（HTZ-535DV）
- システムセットアップガイド（本書）

[スピーカー部に同梱]

- センタースピーカー × 1
- フロントスピーカー × 2
- サブウーファー × 1
- スピーカーコード
  - 4m（赤色のフロントスピーカー用）× 1
  - 4m（白色のフロントスピーカー用）× 1
  - 4m（緑色のセンタースピーカー用）× 1
  - 4m（紫色のサブウーファー用）× 1
- 滑り止めパッド（小）× 12
- 滑り止めパッド（大）× 4

[ワイヤレススピーカー部に同梱]

- ワイヤレススピーカー × 1
- トランスミッター × 1
- オーディオコード × 1
- AC アダプター × 1
- 電源コード × 1
- コーションラベル × 1

1 スピーカーコードをつなぎます

スピーカーコード
スピーカー側へ接続するカラーチューブ
本体側へ接続するカラーコネクター

スピーカーコードのコネクターの付いていない側の先端の被覆をねじりながら引き抜きます。

本体のスピーカー端子へスピーカーコードのカラーコネクターを差し込みます。
スピーカーコードはカラーコネクターの色と同じ色のスピーカー端子へ差し込みます。
スピーカー端子は上側と下側とで向きが異なるためカラーコネクターの向きを確認して差し込んでください。

本体側
カラーコネクター
上側
下側
フロントスピーカーの左側（白色）
センタースピーカー（緑色）
フロントスピーカーの右側（赤色）
サブウーファー（紫色）

スピーカー側の端子については、スピーカー端子のツメを押しながら芯線を端子に差し込みます。
スピーカーコードのカラーチューブのある方を端子の赤側（⊕側）に接続します。カラーチューブのないスピーカーコードは黒い端子の⊖側に差し込みます。
（スピーカーコードのカラーチューブの色と、スピーカーのリア部に貼られているラベルの色を合わせます。）

スピーカー側
色表示
カラーチューブ
黒　赤

メモ

- ◆ 本スピーカーを本システム以外のアンプで使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- ◆ 本システムのサラウンドスピーカーはワイヤレスタイプとなっておりますので、本体のスピーカー端子での接続は必要ありません。

2 テレビと接続します

付属のビデオコード（黄色のプラグ）を本機の映像出力端子に接続します。
次に、ビデオコード（黄色のプラグ）の反対側をテレビの映像入力端子(VIDEO IN)に接続します。
本機では、S端子やD1/D2端子からでも、テレビと接続することができます。詳しくは、取扱説明書（HTZ-535DV）の71ページ「**より鮮明な映像でテレビを見るための接続**」をご覧ください。

本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。

3 トランスミッターと接続します

付属のオーディオコード（赤と白のプラグ）を本機のワイヤレス出力端子に接続します。次に、オーディオコード（赤と白のプラグ）の反対側をトランスミッターの入力端子(ワイヤレス入力)に接続します。

4 AMループアンテナを組み立てます

5 AMループアンテナとFM簡易アンテナを接続します

コードの被覆をねじりながら引き抜きます。

AMアンテナ接続端子のツメを押しながら、AMループアンテナのコードを端子に差し込みます。
どちらをアース側の端子（⏚）につないでもかまいません。
コードを差し込んだら端子から指を離します。

FM 簡易アンテナは、中央のピンに差し込んでください。
また FM 簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないで最も良い受信状態が得られるように、ピンと張ってください。

6 スピーカーの設置

サラウンド効果を最大限に引き出すため、下の図のようにワイヤレススピーカーを設置してください。ワイヤレススピーカーを設置するスペースが視聴位置の後方に確保できないときは、ワイヤレススピーカーを視聴位置の左側か右側に設置することができます。詳しくは取扱説明書の 42 ページにある「**ワイヤレススピーカーのいろいろな設置**」をご覧ください。

- 左右に置いたスピーカーはテレビから等距離になるように設置してください。
- センタースピーカーはテレビの下側に置き、センターチャンネルの音がテレビと同じ位置から聴こえるようにしてください。もしセンタースピーカーをテレビの上に置くときは、テープなどを使用して適切な方法で固定してください。固定しないと地震などの外部の振動により、スピーカーがテレビから落下してケガをしたり、スピーカーを破損する原因となります。
- ワイヤレススピーカーを視聴位置（リスニングポジション）から極端に離して設置すると、サラウンド効果が十分に発揮されません。
- ワイヤレススピーカーは視聴位置（リスニングポジション）の真後ろ（中央）か左右の棚や置き台、または床に設置してください。また、ワイヤレススピーカーは耳の高さよりも下に設置することをお勧めします。耳の高さより上にワイヤレススピーカーを設置すると、サラウンド効果が十分に発揮されないことがあります。

- 本機のフロント / センタースピーカーは防磁設計ですので、テレビと組み合わせても色むらが起こりにくくなっています。まれに設置のしかたによっては色むらを生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15 〜 30分後再びスイッチを入れてください。その後も色むらが残るようでしたらスピーカーシステムをテレビから離してご使用ください。
- 本機のサブウーファーとワイヤレススピーカーは、テレビとの近接使用ができませんのでテレビから離してご使用ください。また、磁気に影響のある製品や機器（フロッピーディスクやビデオ、カセットテープなど）からも離してお使いください。近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、相互作用によりテレビに色むらを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
- フロントスピーカーとサブウーファーは視聴位置から等距離になるように設置してください。
- センタースピーカー、ワイヤレススピーカー、サブウーファーを壁に掛けたり、天井に吊るしたりして使用しないでください。スピーカーが落下してケガをしたり、スピーカーを破損する原因となります。

メモ

- ◆ フロントスピーカー、センタースピーカー、サブウーファーの底面の角４箇所に、滑り止めパッドを貼り付けてください（裏面の「準備」参照)。
- ◆ 本システムを使用しないときはワイヤレススピーカーの電源は OFF にしておいてください。

7 電源コードとACアダプターを壁のコンセントに差し込みます

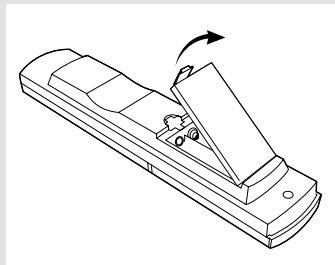
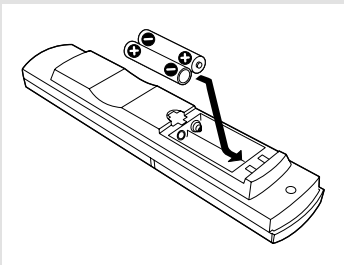
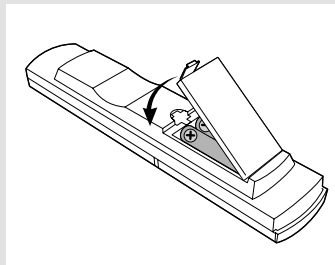
電源コードを本体のACインレットに差し込み、電源コードのプラグ部を壁のコンセントに接続します。
はじめて電源コードをコンセントにつないだ時はデモモードになります。詳しくは取扱説明書（HTZ-535DV）の19ページにある「**デモ表示を解除する**」をご覧ください。
ACアダプターをトランスミッターのDC電源入力端子に接続してから壁のコンセントへ接続します。

8 ワイヤレススピーカーの電源コードをワイヤレススピーカーと壁のコンセントに差し込みます

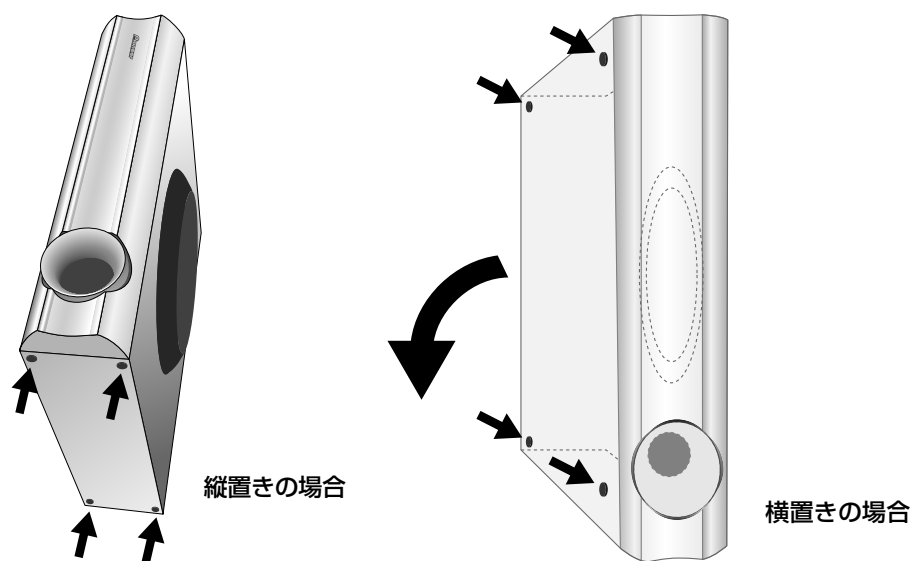
電源コードをワイヤレススピーカーのＡＣインレット(AC IN)に差し込み、電源コードのプラグ部を壁のコンセントに接続します。

DVDを再生しましょう

付属のリモコンに電池を入れましょう

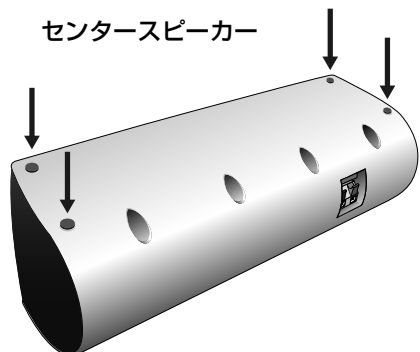
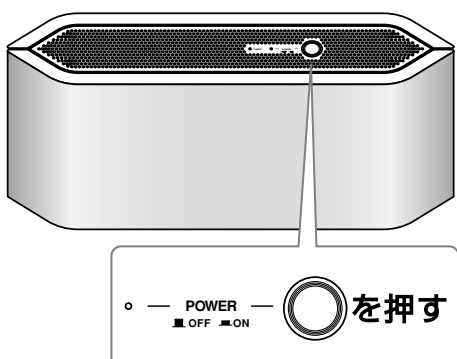
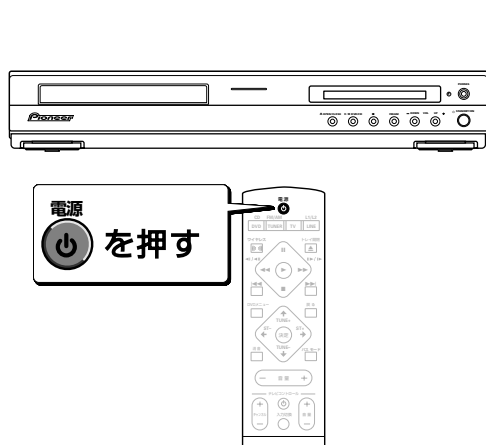
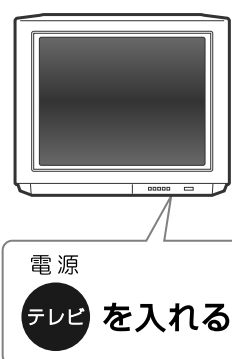
矢印の方向に、裏ブタを開く

ケース内に表記されている極性に合わせて、乾電池を入れる

裏ブタを矢印の方向に閉める

- ◆ 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
- ◆ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ◆ 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ◆ 長い間（1か月以上）使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- ◆ 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

サブウーファーの設置のしかた

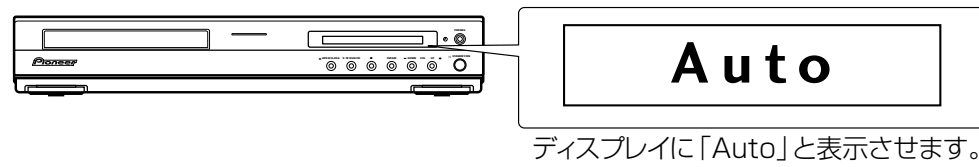
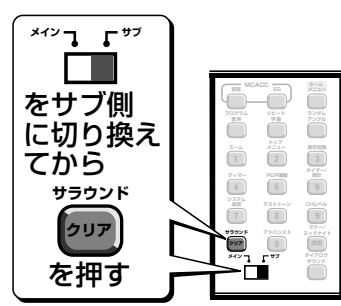
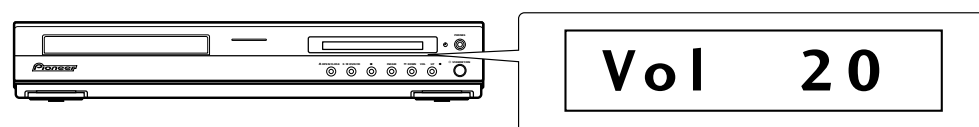
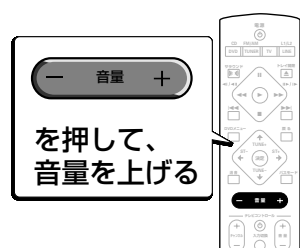
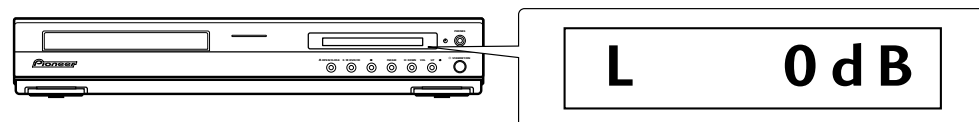
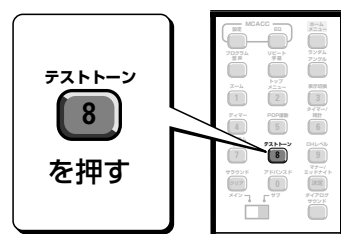
サブウーファーは縦置きと横置きの２つの置き方を選ぶことができます。それぞれ滑り止めパッドを貼る位置が異なりますので下の図を参照して貼ってください。

フロント、センタースピーカーに滑り止めパッドを貼りましょう

フロント、センタースピーカーの底面の角４箇所に、滑り止めパッドを貼り付けます。

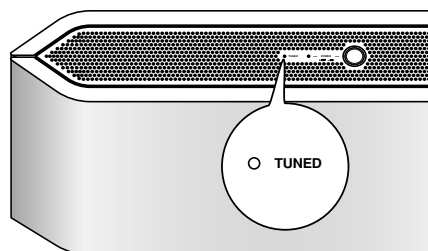
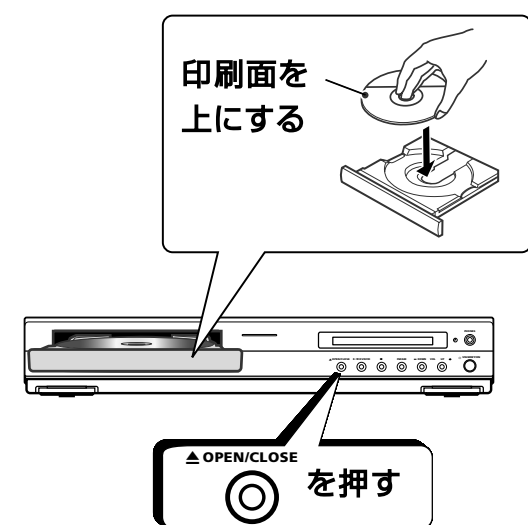
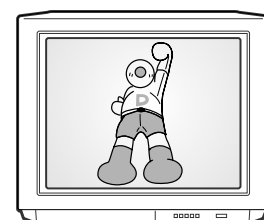
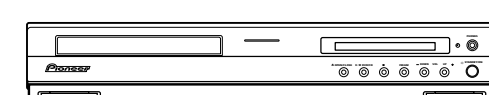
フロントスピーカー

センタースピーカー

電源を入れましょう

テレビの入力を切り換えましょう

下記の画面がテレビに映るように、テレビの入力切換ボタンで切り換えてください。

1 スピーカーの接続確認をしましょう

「ザー」というテストトーンが、すべてのスピーカーから順番に出ることを確認します。
もう一度テストトーンボタンを押すとテストトーンは止まります。
テストトーンの出ないスピーカーがある場合は、もう一度裏面の接続方法を確認して、接続をし直してください。

メモ

- ◆ ワイヤレススピーカーからテストトーンが出ないときは、ディスプレイの「WIRELESS」インジケーターが点灯しているかを確認してみてください。
  消灯または点滅しているときは取扱説明書(HTZ-535DV)の44ページ**「ワイヤレスモードを切り換える」**をご覧ください。
- ◆ トランスミッターからの信号を受信しているときは、ワイヤレススピーカーの「TUNED」インジケーターが点灯します。「TUNED」点灯中はトランスミッターからの音声信号を受信し、音が出る状態です。
  「TUNED」インジケーターが点灯しない場合は、トランスミッターのチャンネル選択ボタンを押してチャンネルを切り換えてみてください。それでも「TUNED」インジケーターが点灯しない場合はトランスミッターの位置を動かしてみてください。

2 再生しましょう

再生するソースによってはセンタースピーカーやワイヤレススピーカーから音が出ないことがあります。取扱説明書（HTZ-535DV）の41ページ**「サラウンド再生を楽しむ」**をご覧になり、お好みに応じてリスニングモードを切り換えてください。

最適な環境で迫力あるサラウンドを楽しむために

サラウンドの自動設定(MCACC)を行います

取扱説明書（HTZ-535DV）の８ページ**「サラウンドの自動設定（MCACC）」**をご覧ください。
マイクを使用した自動設定で、高精度なサラウンド設定を簡単に短い時間で行うことができます。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号
<XRA3026-A>